

懸垂幕昇降装置の販売好調

素材にSUS304採用、高耐食性

ステンレス流通の三榮（本社・大阪市生野区、社長・佐伯清孝氏）は、懸垂幕昇降装置の新商品（EZ Bat on SK-3）がコンビニ大手のセブーンイレブンに採用され販売が好調に推移している。新商品は脚立に上らず地上で簡単かつ安全に横断幕の交換作業ができる。今後はドラッグストアやホームセンターなどチェーン店への拡販を進めていく。同社は販売が好調なことを受け本社近く



セブーンイレブンに採用、地上で安全に横断幕を交換

各種加工を行っているほか、コイルセンターの三榮ステンレスセンター（奈良市）を持っている。横断幕や垂れ幕を掲示する懸垂幕事業については、2013年に取引先の事業を引き継ぎ開始。懸垂幕昇降装置の製作、施工、販売を手掛けている。2年ほど前にセブーンイレブンから店舗向けの懸垂幕の打診があり、新商品を開発。昨年11月から出荷し、これまで200台以上納入している。「EZ Bat on SK-3」は、SUS304を素材にしているため、屋外に設置しても耐食性が高い。一般的な懸垂幕のサイズは縦35センチ、横3メートルだが、最大で縦50センチ、横5メートルまで対応している。同社はすでに実用新案を取得している。今後セブーンイレブンの新規開店や改装した店舗を中心に年間500台出荷していく予定。同社では、幅広い分

野に拡販を図るため5月末に大阪南港ATC（区）で開催された広告エキスポ2025」に出展し、新商品をPRした。

